



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.10 令和7年12月24日発行

1年のしめくくりにあたって

校長 廣瀬 巧

冷え込みが厳しくなっています。年末が近づくとなんだか気ぜわしくなると同時に、新年を心待ちにするようになるものです。とはいえ、大人になってしまふと子どもの時のわくわく感は薄れて、慌ただしい気持ちだけが先行してしまうのは私だけではないと思います。皆様はいかがでしょう。本日で今年の学習は終わり、明日から冬休みを迎えます。夏休みから冬休みにかけての時期は、子どもが1年間のうちで最も成長する時期と言われています。真龍小学校の子ども達もたくましく成長した部分がたくさんあります。もう少し成長できそうだと思うこともたくさんあります。過日の参観日の懇談の際、担任から話があったことでしょうか。冬休み明けは学年の終盤です。今年度のうちにできることはしっかりと指導してまいりたいと考えております。

明日からの冬休みで、特にご家庭で取り組んで欲しいことは、健康安全と規則正しい生活です。他にも計画的な学習・運動・読書やお手伝いなど子どもが自主的な生活を維持できているか確認と声かけをお願いします。もちろん、一家団欒や何かに夢中になって取り組むなど長期休業中にしかできないことに取り組むのも大切です。その中でも自主的計画的な生活ができるようよろしく願いいたします。

子ども達には、年末には掃除などの正月の準備を家族の一員として働いたり手伝ったりしてほしいです。例えば掃除一つでも多くの子どもは、「自分がやった」ということを中心に考えるため、汚れの指摘をすると、「やったから!」ということがあります。結果のよさではなく、終わったという事実が先行している考えです。こうした考えは現代社会にも浸食しているらしく、「それは聞いていません」「私はやりました」という主張が多く発生しているといえます。何かを行うには、ある程度の成果は必要となります。せっかく家の手伝いをして結果が伴っていない場合は、もう一度やり直すことも大切な経験です。また、成果がある場合に評価されることもまた大切な経験です。「頑張った」だけではない賞賛や次へつながる評価も得ながら、役割を果たしてほしいと思います。

現代は、無料で楽しめる動画やそのほかコンテンツが充実しているほか、サブスクリプションを利用して好きな時間に好きなものを選んで観ることが可能になっています。そのため、テレビが一家団欒の中心だった時代は終わり、個人がそれぞれに楽しむことが多くなったのでしょうか。それが個別最適といえるかは分かりませんが、ちょっとさみしい感じもします。冬休み中は、テレビに限らず、家族みんなで笑い合うような時間がたくさんあるといいなと思います。それぞれのご家庭では、それぞれの年越し・正月の過ごし方もあることでしょうか。外は寒いですが家は暖かい!という冬休みを過ごしてもらいたいところです。

保護者の皆様におかれましては、日頃より教育活動に際しまして深いご理解と大きなお力添えを賜り誠にありがとうございます。新年が保護者の皆様、子ども達、地域の皆様にとりましてよい年となりますようご祈念申し上げます。

日	曜	1月の主な行事
1	木	元日 学校閉庁日
2	金	学校閉庁日
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	配本日
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	冬休み終了
14	水	後期第2ステージ開始 講話朝会
15	木	短縮日課 冬休み作品展(～21日) 冬休み図書返却(～16日)
16	金	短縮日課 スケート学習(5・6年)
17	土	
18	日	
19	月	生活リズムチェック週間(～25日) スケート学習(2・3年)
20	火	短縮日課
21	水	スケート学習(4・1年) 児童委員会
22	木	短縮日課 3年生読み聞かせ
23	金	短縮日課 スケート学習(6・1・3年)
24	土	
25	日	
26	月	スケート学習(2・1・4年)
27	火	短縮日課
28	水	SC来校日 放課後学習 スケート学習(5・1・2年)
29	木	短縮日課 新1年生1日入学・保護者説明会
30	金	短縮日課 スケート学習(6・3・5年)
31	土	

「ながら見守り」のお願い

1月の帰宅時刻 16:00

この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

真龍小・中学校の連携～小中9年間をつなぐ学びと育ちを大切に～

本校では、真龍中学校と連携し、9年間を見通した学びと生活指導の充実に取り組んでいます。今回は、小中連携の学習面・生活面での取り組みについてご紹介します。

【小中9年間を見通した学びのつながり】

本校では、中学校と連携し、9年間を見通した学びの充実に取り組んでいます。総合的な学習の時間では、小学校で身に付ける「調べる・まとめる・伝える」といった学習の基礎を土台に、中学校で内容を深め、根拠をもって考えを表現できる力へとつなげていくことを大切にしています。

そのために、小中の教員が委員会で協議を重ね、各学年で育成を目指す力や学習の系統性を確認しています。また、小中の先生方が互いの学校の校内研修における公開授業を参観し、研究協議を行うことで、指導のねらいや子どもたちの姿を共有し、授業改善につなげています。こうした取組を通して、学びが小学校から中学校へと自然につながり、子どもたちが安心して学びを深めていけることを目指しています。

【安心・安全な学校生活を支える連携】

生活指導の面でも、小中で共通理解を図りながら、9年間を通した一貫性のある指導を進めています。今年度は、学校生活や学習のきまりを分かりやすくまとめた学校基底表（よくわかる！真龍小学校・真龍中学校）を作成しましたが、その内容についても、小中の先生方が集まり、児童生徒の発達段階や実態に合っているか、より伝わりやすい表現になっているかといった視点で見直しの協議を行っています。

協議では、「きまりの意味や背景が子どもに伝わっているか」「安心・安全な学校生活につながっているか」を大切に、「安心・安全を考え、よりよい判断と行動ができる子」という共通の目標に立ち返りながら検討を進めています。また、生活面においても公開授業の参観や協議を通して、学習場面と生活指導を結び付けた指導の在り方を共有しています。小中の教職員が連携し、子どもたちが自ら考え、行動できる力を育てていきます。

あっけし極みるく65フェスティバル

ふるさと教育の一環として、3年生は総合的な学習の時間に、厚岸町のブランド牛乳「あっけし極みるく65」の魅力を探る学習に取り組みました。今年はその成果を発表する場として、道の駅厚岸味覚ターミナル・コンキリエで「みんなハッピー！人気アップ！『あっけし極みるく65』フェスティバル」を12月12日（金）に開催しました。

子ども達は、JA太田さんの協力を得て牧場見学を行った。道の駅で人気度調査をしたりしながら学習を深めました。調査を通して、地元牛乳をまだ飲んだことがない人がいることを知り、「もっと魅力を伝えたい」という思いから、フェスティバルの開催を自分たちで企画しました。

当日は、手作りの絵本やクイズ、試飲、スタンプラリーなどを実施し、受付や運営も児童が担当。会場は多くの来場者でにぎわいました。活動を通して、地域のよさを発信する喜びや、学びを行動につなげる力を育むことができました。



学校閉庁期間のお知らせ

12月29日（月）から7日間、学校閉庁日となります。この学校閉庁は、働き方改革の一環として取り組まれているものです。

この期間中、学校は職員不在となりますので、電話等の対応はできなくなります。もし緊急で学校へ連絡が必要な場合は、厚岸町教育委員会まで連絡するようにしてください。

◎学校閉庁期間

令和7年12月29日（月）～令和8年1月4日（日）

◎緊急連絡先：厚岸町教育委員会

電話：0153-52-3131

来年もよい年になることを祈念しております

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『十二支のはじまり』

谷 真 介/文

赤坂 三好/絵（佼成出版社）

学校司書 小島 郁子

この本は、「行事むかしむかし」シリーズ本の、1月のお話として紹介されています。

干支の動物たちがどうやって決まったのか、そして、なぜその順番になったのかが、版画風の絵で面白おかしく書かれています。

実は、私の友人がこの本を元にペープサート（紙人形）を作り、学校図書館に寄贈してくれました。

今回、冬休みの本の貸出の時に、校務補の曙さんの手をお借りし、子どもたちの前でペープサートの実演を行いました。1年生から4年生までに観てもらいましたが、子どもたちが自分の干支をちゃんと理解していて感心しました。

このお話には、十二支に入っていない動物も登場します。何の動物かわかりますか？それは「猫」です。猫は、ネズミにだまされて神様の御殿に行く日を間違えてしまい、干支に入ることができなくなりました。そのせいで、猫とネズミの仲が悪くなったというエピソードが書かれています。

他にも、イノシシが勢い余って御殿の扉に激突してしまい、その隙に犬に抜かれて順番が最後になってしまったということも書いてあります。

昔話や民話には言い伝えや教訓的な意味合いも多く含まれていて、子どもたちにたくさん読んでほしい本のひとつになっています。

今、『かさこじぞう』を学習した二年生の教室に、担任の先生からの依頼で昔話をたくさん貸し出しています。真小タイムや隙間時間を利用し、数多くの昔話や民話に触れてほしいです。

※この本は、学校図書館と厚岸情報館に所蔵があります。

